

水防に関する情報提供

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1. ワンコイン浸水センサ実証実験について | p.2 |
| 2. 水害リスクラインと浸水ナビの統合表示の開発 | p.8 |
| 3. 新洪水予警報等作成システムについて | p.14 |
| 4. 水害リスクマップについて | p.16 |
| 5. 水災害リスクコミュニケーションポータルサイトについて | p.19 |
| 6. NIPPON防災資産 | p.20 |



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和7年3月14日
水管理・国土保全局河川計画課

現在までに202の自治体が参加予定 ～ワンコイン浸水センサ実証実験の参加者を更に募集します～

浸水の危険性がある地域に手頃な価格の小型センサを設置し、リアルタイムに浸水の有無を把握することを目的とする実証実験を実施しています。前回までの公募により、参加自治体数が202となりました（別紙参照）。活用事例を幅広く収集・分析し、効果的な実証実験とするため、参加する自治体や企業・団体等を更に募集します。

＜実証実験の目的＞

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、浸水の状況を迅速に把握し、災害対応を行うことが重要となっております。そのため、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握し防災行動に繋げる仕組みの構築に向けて、国や自治体、民間企業等の様々な関係者が協力して、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。

この実証実験をより有効に進めるためには、様々な地域や場所で設置するほか、具体的な活用方法についての事例を収集・分析する必要があります。このため、参加する自治体や企業・団体等を更に募集することとしました。

※これまでの実証実験概要等は以下WEBサイトに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

＜公募内容について＞

（1）対象者

- ① 実証実験実施地区となる自治体（市区町村）
 - ② 浸水センサを自ら設置・管理できる企業・団体等（都道府県含む）
- ※ 詳細は、別添公募実施要領をご覧ください。

（2）公募期間

- ①、②共通：令和7年3月14日（金）～令和7年5月30日（金）17時まで

※応募者多数の場合等はお受けできない場合がございます。

【問合せ先】

水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 成島（内線 35392）、係長 香川（内線 35394）
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446

参加者一覧抜粋

No.	自治体名	企業・団体名（代表者） ※左記自治体内でセンサを設置する企業・団体等
149	鳥取県 米子市	
150	鳥取県 出雲市	
151	鳥取県 倉田町	
152	鳥取県 江津市	
153	鳥取県 川本町	
154	岡山県 岡山市	国立大学法人岡山大学・（株）ブロードライン
155	岡山県 総社市	
156	岡山県 瀬戸市	
157	広島県 廿日市市	
158	山口県 山口市	
159	山口県 田布施町	
160	徳島県 徳島市	喜多機械産業（株）
161	徳島県 鳴門市	日亜化学工業（株）
162	徳島県 阿南市	日亜化学工業（株）
163	徳島県 吉野川市	
164	徳島県 美馬市	
165	徳島県 石井町	
166	徳島県 美波町	喜多機械産業（株）
167	徳島県 海陽町	
168	徳島県 美波町	
169	香川県 高松市	国立大学法人香川大学
170	香川県 丸亀市	国立大学法人香川大学
171	香川県 三豊市	国立大学法人香川大学
172	愛媛県 松山市	
173	愛媛県 新居浜市	（株）ハートネットワーク
174	愛媛県 大洲市	
175	高知県 高知市	ニッポン高度組工業（株）
176	高知県 四万十市	中央大学研究開発機構 中央大学研究開発機構
177	高知県 いの町	（株）石塚
178	高知県 日高町	
179	福岡県 大牟田市	
180	福岡県 久留米市	三井住友海上火災保険・積水樹脂・大東建託・大和ハウス（株） （株）Kyuホールディングス・アルインコ（株）
181	福岡県 小郡市	（株）Kyuホールディングス
182	福岡県 太宰府市	
183	福岡県 宮崎市	
184	福岡県 うきは市	大和ハウス工業（株）
185	福岡県 筑前町	（株）Kyuホールディングス
186	福岡県 添田町	（株）Kyuホールディングス
187	佐賀県 武雄市	
188	佐賀県 神埼市	（有）ジョイックス交通
189	熊本県 熊本市	
190	熊本県 御船町	
191	熊本県 平佐町	
192	熊本県 球磨村	大和ハウス工業（株）
193	大分県 中津市	
194	大分県 日田市	
195	宮崎県 宮崎市	
196	宮崎県 都城町	
197	宮崎県 延岡市	
198	宮崎県 国富町	
199	宮崎県 綾町	
200	宮崎県 高鍋町	
201	宮崎県 木城町	
202	鹿児島県 鹿屋市	

ワンコイン浸水センサ実証実験の概要

ワンコイン浸水センサ実証実験の概要

ポンプ設置のタイミングや通行可否の判断に
浸水センサを活用



実証実験参加自治体：秋田県秋田市
(令和6年7月9日 浸水状況)



実証実験参加自治体：埼玉県戸田市
(令和6年7月31日豪雨 浸水状況)

浸水発生時の迅速な判断・情報発信に役立つ
ワンコイン浸水センサ実証実験
～ 官民連携による流域の浸水状況把握 ～

POINT! 浸水情報をリアルタイムにホームページで公開しています。

国土交通省HP ワンコイン浸水センサ実証実験

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

参考資料1

官民連携で浸水状況をリアルタイムで把握する仕組みを作っています

国・自治体・企業・大学など、流域内のあらゆる関係者が参加して実証実験を実施中！

官民連携による浸水域把握（活用のイメージ）



ワンコイン浸水センサ

小型、低コストかつ長寿命で、流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



実証実験に用いている浸水センサ

リアルタイムの浸水状況表示システム

各センサの情報を一元的に収集し、浸水状況を共有するシステム



浸水センサ表示システムのイメージ（広域&拡大）

ワンコイン浸水センサ実証実験参加者の声



A自治体

浸水センサを活用することで、浸水範囲や浸水深を早期に把握することが可能となるため、避難情報発令及び通行規制の判断や面的な被害状況の把握に繋がりたい。

急な浸水や内水氾濫をいち早く把握することで管理施設の被害防止・軽減、早期復旧に活用したい。



B企業

お問い合わせ先

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
ワンコイン浸水センサ 担当
E-Mail: hqt-immersion-sensor@gxb.mlit.go.jp

- 181 -

ワンコイン浸水センサ実証実験 応募の流れについて(市区町村の参加の場合)

参考資料2

- 対象の複数社のセンサから希望するメーカー及び数量を選択します。
(センサと1年目の通信費等は国が負担します)
- 設置場所の選定や、設置作業は参加者でお願いします。
- 商用電源を使用する機器の電気代金や2年目以降の通信費等は、参加者でご負担いただきます。

センサの選定



センサを受領



センサをシステムに登録



実証実験に応募



センサを現地に設置



大雨時に確認



あら、かんたん



実証実験に関する問い合わせ先
国土交通省 水管理・国土保全局
河川計画課 河川情報企画室
TEL : 03-5253-8446
メール : hqt-immersion-sensor@gxb.mlit.go.jp

ワンコイン浸水センサ実証実験 参加者の分類

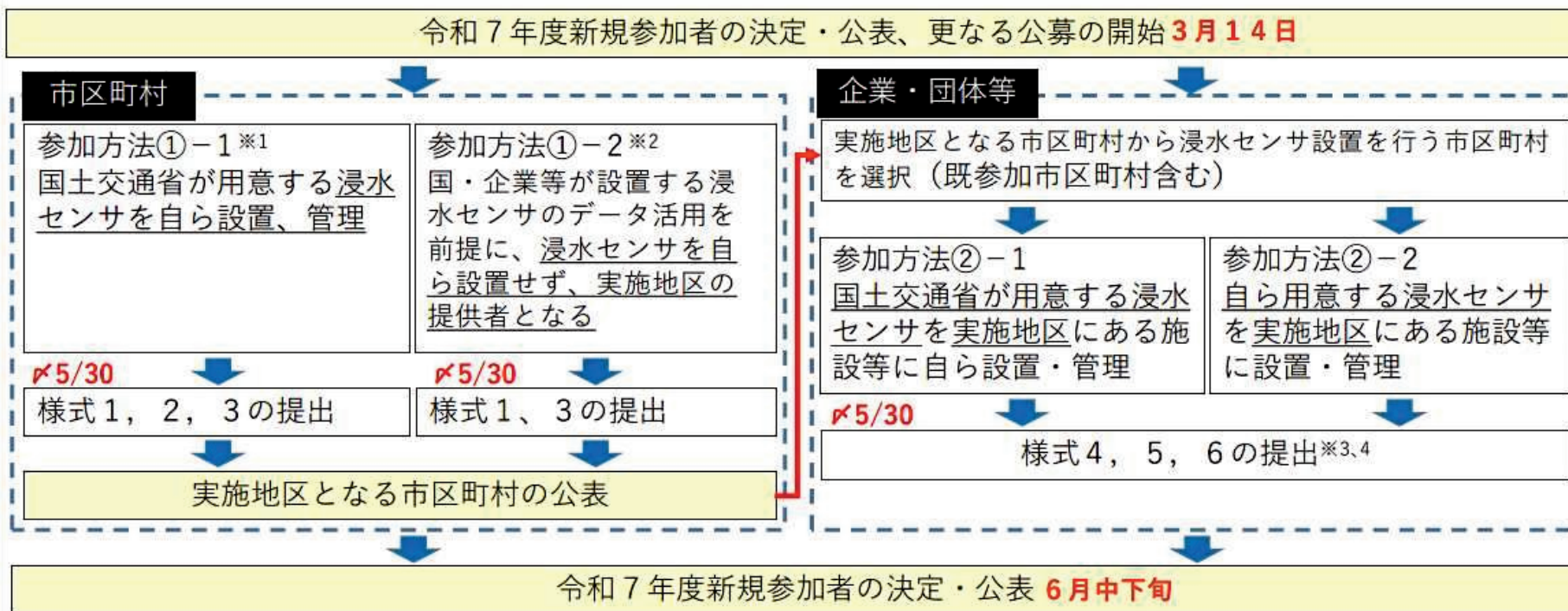
参考資料3

参加者の分類	参加目的の事例	参加の形式	費用負担
① 市区町村	- 管内の浸水状況把握 - 浸水情報の自治体防災関係システムへの連携 など	①-1 国交省が用意するセンサを設置 (対象の複数社のセンサから希望するメーカー及び数量を選択する) ①-2 浸水センサを自ら設置せず、モデル地区の提供者となる	○センサの設置費 ○翌年度以降(令和8年4月～)のランニングコスト (センサ通信費・センサメーカーのクラウド運用経費) ○電気代など管理に係る費用 ※以下の費用は国負担※ ○センサ及び関係機器費 ○初年度のランニングコスト (センサ通信費・センサメーカーのクラウド運用経費) ○データ共有サーバ等の表示システム運用に関する経費
② 企業・団体等 (都道府県含む)	- 自社施設に対する浸水把握 - 自社開発センサの現地実証 - 浸水情報を活用した自治体向けシステム開発、保険商品開発など、企業による新たな商品開発 - 大学等による研究 - 都道府県管理河川周辺の浸水状況把握 など	②-1 国交省が用意するセンサを設置 (対象の複数社のセンサから希望するメーカー及び数量を選択する) ↑ ↓ ②-2 自社で用意するセンサを設置	同上 「データ共有サーバ等の表示システム運用に関する経費」以外は全て参加者負担
③ 国土交通省 (河川関係事務所)	管内(直轄管理河川周辺)の浸水状況把握 など	国交省が用意するセンサを設置	—

※公募の対象は、①と②の参加者

ワンコイン浸水センサ実証実験 参加の流れ（令和7年度参加者募集）

参考資料4



※1:参加方法①-1の場合も、実証実験を希望する企業と自治体の浸水把握ニーズなどを調整し、企業の受け入れに関して調整を受けることを条件とします。

※2:企業等が市区町村と連携して②-1または②-2で参加する場合、市区町村の①-2での参加エントリーが合わせて必要です。

※3:都道府県としての参加の場合は、企業・団体等の参加者（②-1または②-2）としてエントリーしてください。

※4:企業の自社施設に設置する場合も、市区町村が実施地区として参加エントリーしていることが条件となります。（その場合は、市区町村への設置箇所の調整等は不要）

令和7年度 ワンコイン浸水センサ実証実験

令和7年度実証実験で国交省が用意する対象の9社のセンサ



光陽無線（株）／太陽誘電（株）



太平洋工業（株）



リプロ（株）



NTTインフラネット（株）



京セラコミュニケーションシステム（株）／マスプロ電気（株）
／ゼロスベック（株）



ニタコンサルタント（株）
／（株）Skeed



応用地質（株）



エヌエスティ・グローバルリスト（株）



旭光電機（株）

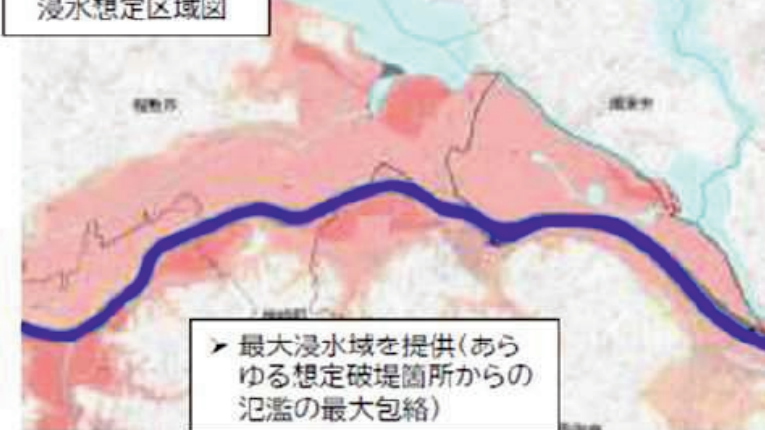
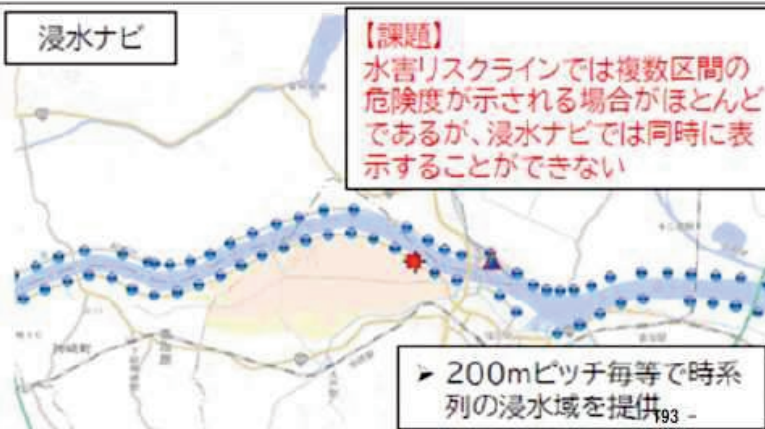
●IDR4M洪水ハザード開発の背景

- 自治体が、現在の河川情報から、実際の洪水時において浸水する危険性が高い区域を推定することは非常に困難であり、その結果、市町村が全域を対象とする等、非常に広い範囲に避難指示等が発令されることが多い。
- 市町村全域等を対象とした発令は、その対象範囲が広すぎるため、
 - ・住民に切迫性を伝える効果が低く、逃げ遅れの発生につながりやすいこと
 - ・必要以上の避難所の開設等に市町村の限られた人的資源を割くことになること等の問題を伴う。
- 以上のような背景の下、市町村による的確な避難指示の発令等を支援することを目的に、IDR4Mが開発された。
- IDR4Mの洪水ハザードは、水害リスクラインの予測に基づき、浸水ナビの破堤点ごとの時間拡大想定氾濫エリアを適宜マップに表示することにより、的確なタイミングで地域を絞った避難情報の発令を支援する情報である。

※ BRIDGE(R5～R7)での実証実験を経て、R8年度以降「市町村向け川の防災情報」にて実装予定。

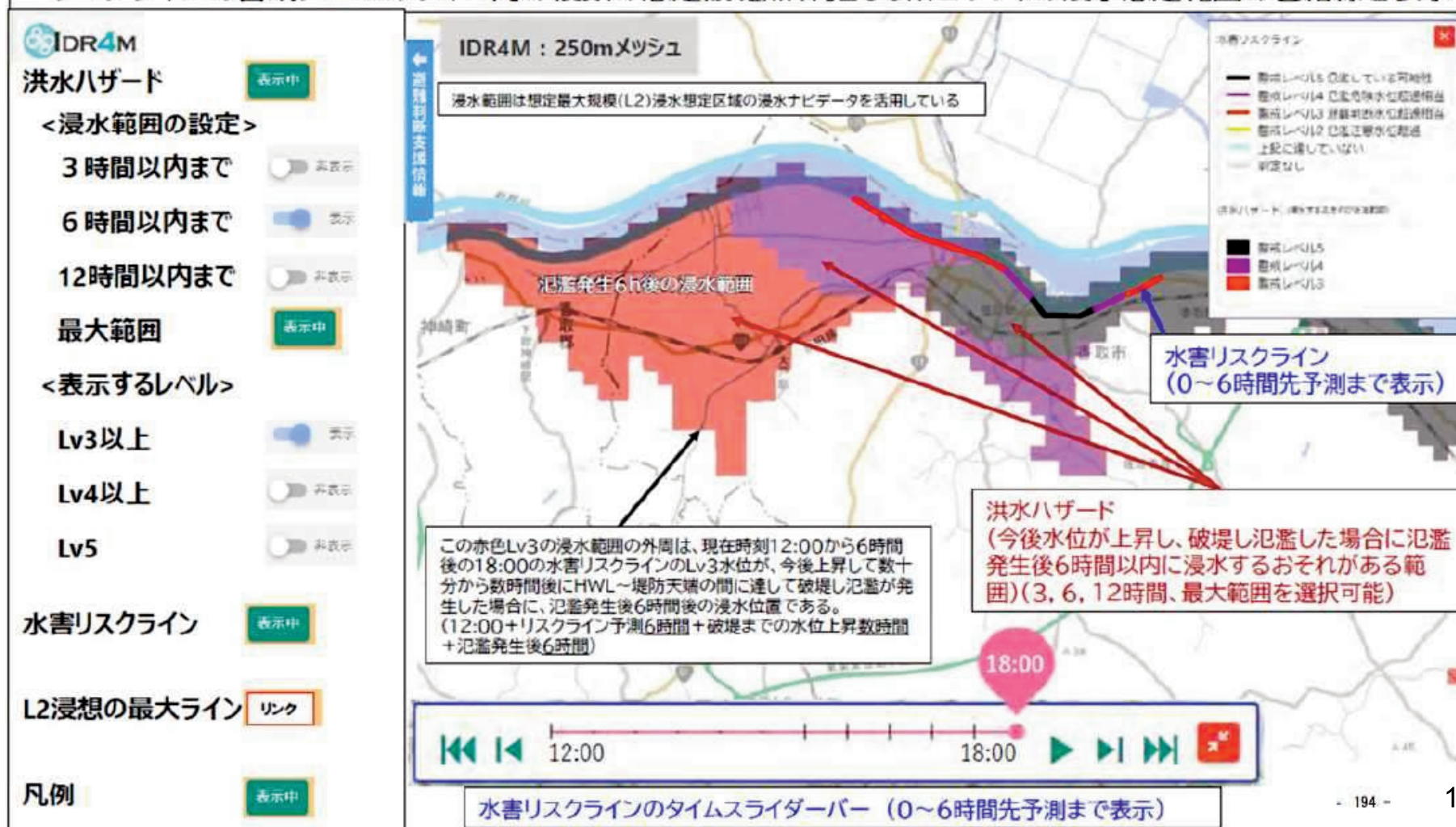
IDR4M開発の背景

- 現在提供されている情報は以下の通り。
- 浸水リスクのある区域等が統合的に示される情報がないため、範囲を絞り込むことが容易ではない。

	洪水発生 of 切迫度が高まった河川区間	浸水リスクのある区域等
絞り込まれていない情報	洪水予報等の情報  ➢ 左右岸の区別がない ➢ 受け持ち区間ごとの情報 (数km～十数km)	浸水想定区域図  ➢ 最大浸水域を提供 (あらゆる想定破堤箇所からの氾濫の最大包絡)
絞り込まれた情報	水害リスクライン  ➢ 左右岸それぞれで判定 ➢ 200mピッチ毎等で危険度レベルを判定	浸水ナビ  【課題】 水害リスクラインでは複数区間の危険度が示される場合がほとんどであるが、浸水ナビでは同時に表示することができない ➢ 200mピッチ毎等で時系列の浸水域を提供

IDR4M洪水ハザードの表示例(案)

- 水害リスクラインの警戒レベルは6時間先までの予測を表示
- 洪水ハザードは(水位がこのまま上昇して破堤し氾濫に至った場合に)浸水するおそれがある範囲として水害リスクラインの警戒レベルのライン内の複数の想定破堤点(約200mピッチ)の浸水想定範囲の包絡線を表示



同じ画面・同じ情報を市町村と河川管理者が同時に見ながらウェブホットラインの情報交換を行うことで、スムーズかつ的確な意思疎通が可能となります。

●これまで

- 災対室の複数画面などに同時に様々な資料を表示していたが、地図や縮尺の違いがあり、情報を即時に把握・共有することが難しかった

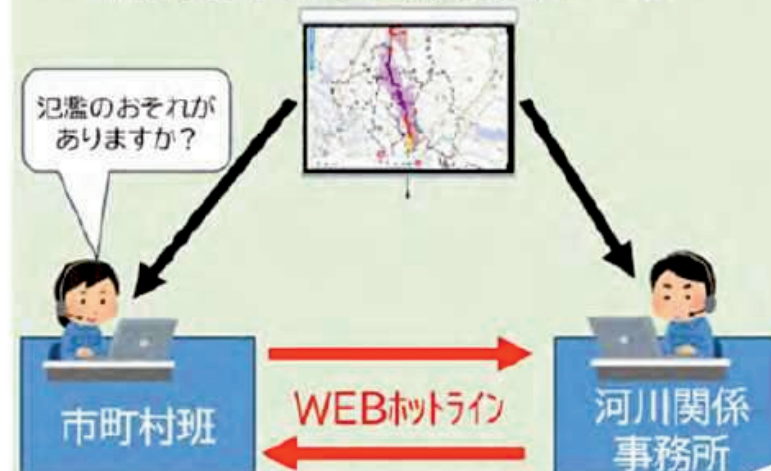


災対室のイメージ

●IDR4Mを導入

- 一つの画面上に情報を集約かつ重ねて表示できるため、市町村との意見交換がスムーズになります

WEBホットライン訓練のイメージ

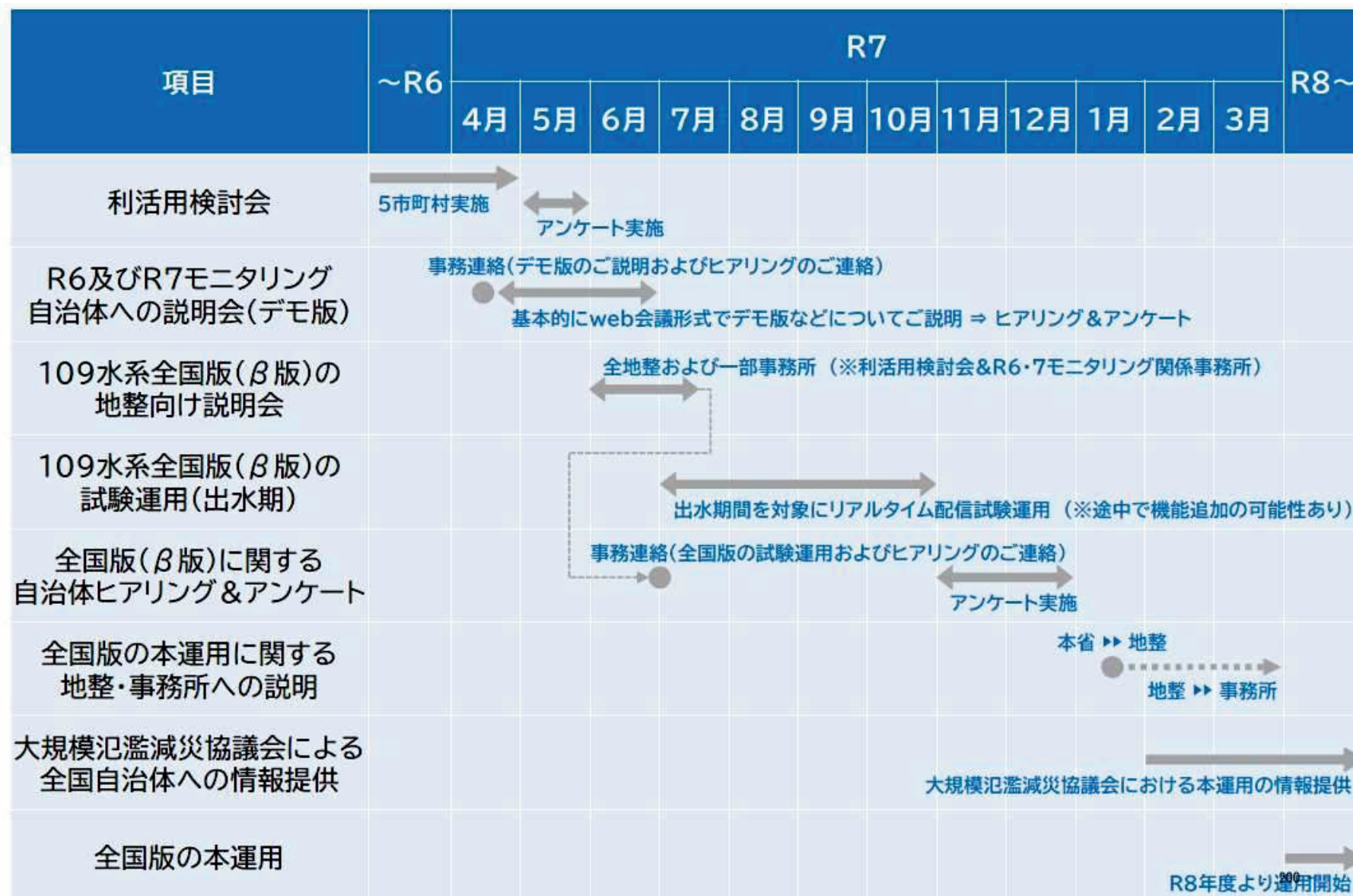


令和7年度モニタリング市町村

- 下記市町村においては、令和7年度からのモニタリングへのご協力をお願いするため、令和6年に順次各市町村にFRICSが説明に伺っている状況。
- 令和6年度モニタリング自治体と同様に、現在検討中のIDR4M洪水ハザードの機能や画面表示系およびデモ版について説明させて頂き、ヒアリングやアンケートをお願いしたい。
- また、本年度出水期から公開予定の全国版(109水系)IDR4M洪水ハザードリアルタイム版(β版)を是非活用いただきたい。

地整	河川関係事務所	対象流域	モニタリング市町村
東北	福島河川国道事務所	阿武隈川上流域	須賀川
北陸	羽越河川国道事務	荒川下流域	関川村
中部	沼津河川国道事務所	狩野川流域	伊豆市
四国	高知河川国道事務所	仁淀川流域	いの町
	中村河川国道事務所	渡川流域	四万十市

今後のスケジュール(案)



新洪水予警報当作成システムについて



洪水予報文（PDF 形式）を見やすい図表を用いて分かりやすくします！
～新システムの運用を開始します～

川の防災情報や気象庁ホームページからどなたでも確認できる PDF 形式の洪水予報文を、見やすい図表を用いて分かりやすくします。

国土交通省または都道府県と気象庁が共同で発表している「指定河川洪水予報」について、その発表文の作成を支援するシステムの改良を進めてきました。この新システムの運用を、3月25日13時※から開始することに伴う変更です。

※天候、地震、その他の事情により延期する場合があります。

【別紙】

・洪水予報文（PDF形式）の主な変更点

（参考）関連資料及び用語解説は、下記のホームページをご覧ください。

○配信資料に関する技術情報第635号～洪水予報文（PDF形式）の様式変更について～

<https://www.data.jma.go.jp/suishin/jyouhou/pdf/635.pdf>

○「川の防災情報」「気象庁ホームページ（指定河川洪水予報）」

…発表中の洪水予報文（PDF形式）をダウンロードすることができます

<https://www.river.go.jp/index>

<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>

○防災用語ウェブサイト：洪水予報

<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=kozuiyohou>

○防災用語ウェブサイト：早見表（警戒レベル相当情報早見表）

<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=hayamihyo>

- 現行PDF

正體

○○川犯者注意情報

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

(巻出し)

【警戒レベル2相当情報【洪水】】〇〇川では、冠水注意水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

(主文)

【警戒レベル2相当】〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇市〇〇）では、「危険注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川の△△水位観測所（△△市△△）では、「危険注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇市〇〇）では、「注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

《測量》

所により1時間に50ミリの雨が降っています。
今後この雨は降り続く見込みです。

決算	00月00時00分～00月00時00分 までの決算平均雨量	00月00時00分～02月00時00分 までの決算平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

〔水位〕

〇〇川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

試題題名	次級題目標度	初級目標				
		初級目標1	初級目標2	初級目標3	初級目標4	初級目標5
○○○ 南亞細亞島 (○○○○○○○)	初級目標1分占成績	80.1				
	初級目標2分占成績	79.5				
	初級目標3分占成績	79.5				
	初級目標4分占成績	79.5				
	初級目標5分占成績	79.5				
	初級目標1分占成績	79.5				
	初級目標2分占成績	79.5				
	初級目標3分占成績	79.5				
	初級目標4分占成績	79.5				
	初級目標5分占成績	79.5				
△△△ 東亞細亞島 (○○○△△△△△)	初級目標1分占成績	79.5				
	初級目標2分占成績	79.5				
	初級目標3分占成績	79.5				
	初級目標4分占成績	79.5				
	初級目標5分占成績	79.5				
	初級目標1分占成績	79.5				
	初級目標2分占成績	79.5				
	初級目標3分占成績	79.5				
	初級目標4分占成績	79.5				
	初級目標5分占成績	79.5				
△△△ 北亞細亞島	初級目標1分占成績	80.1				
	初級目標2分占成績	79.5				

CH 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050 2051 2052 2053 2054 2055 2056 2057 2058 2059 2060 2061 2062 2063 2064 2065 2066 2067 2068 2069 2070 2071 2072 2073 2074 2075 2076 2077 2078 2079 2080 2081 2082 2083 2084 2085 2086 2087 2088 2089 2090 2091 2092 2093 2094 2095 2096 2097 2098 2099 2100 2101 2102 2103 2104 2105 2106 2107 2108 2109 2110 2111 2112 2113 2114 2115 2116 2117 2118 2119 2120 2121 2122 2123 2124 2125 2126 2127 2128 2129 2130 2131 2132 2133 2134 2135 2136 2137 2138 2139 2140 2141 2142 2143 2144 2145 2146 2147 2148 2149 2150 2151 2152 2153 2154 2155 2156 2157 2158 2159 2160 2161 2162 2163 2164 2165 2166 2167 2168 2169 2170 2171 2172 2173 2174 2175 2176 2177 2178 2179 2180 2181 2182 2183 2184 2185 2186 2187 2188 2189 2190 2191 2192 2193 2194 2195 2196 2197 2198 2199 2200 2201 2202 2203 2204 2205 2206 2207 2208 2209 2210 2211 2212 2213 2214 2215 2216 2217 2218 2219 2220 2221 2222 2223 2224 2225 2226 2227 2228 2229 2230 2231 2232 2233 2234 2235 2236 2237 2238 2239 2240 2241 2242 2243 2244 2245 2246 2247 2248 2249 2250 2251 2252 2253 2254 2255 2256 2257 2258 2259 2260 2261 2262 2263 2264 2265 2266 2267 2268 2269 2270 2271 2272 2273 2274 2275 2276 2277 2278 2279 2280 2281 2282 2283 2284 2285 2286 2287 2288 2289 2290 2291 2292 2293 2294 2295 2296 2297 2298 2299 2300 2301 2302 2303 2304 2305 2306 2307 2308 2309 2310 2311 2312 2313 2314 2315 2316 2317 2318 2319 2320 2321 2322 2323 2324 2325 2326 2327 2328 2329 2330 2331 2332 2333 2334 2335 2336 2337 2338 2339 2340 2341 2342 2343 2344 2345 2346 2347 2348 2349 2350 2351 2352 2353 2354 2355 2356 2357 2358 2359 2360 2361 2362 2363 2364 2365 2366 2367 2368 2369 2370 2371 2372 2373 2374 2375 2376 2377 2378 2379 2380 2381 2382 2383 2384 2385 2386 2387 2388 2389 2390 2391 2392 2393 2394 2395 2396 2397 2398 2399 2400 2401 2402 2403 2404 2405 2406 2407 2408 2409 2410 2411 2412 2413 2414 2415 2416 2417 2418 2419 2420 2421 2422 2423 2424 2425 2426 2427 2428 2429 2430 2431 2432 2433 2434 2435 2436 2437 2438 2439 2440 2441 2442 2443 2444 2445 2446 2447 2448 2449 2450 2451 2452 2453 2454 2455 2456 2457 2458 2459 2460 2461 2462 2463 2464 2465 2466 2467 2468 2469 2470 2471 2472 2473 2474 2475 2476 2477 2478 2479 2480 2481 2482 2483 2484 2485 2486 2487 2488 2489 2490 2491 2492 2493 2494 2495 2496 2497 2498 2499 2500 2501 2502 2503 2504 2505 2506 2507 2508 2509 2510 2511 2512 2513 2514 2515 2516 2517 2518 2519 2520 2521 2522 2523 2524 2525 2526 2527 2528 2529 2530 2531 2532 2533 2534 2535 2536 2537 2538 2539 2540 2541 2542 2543 2544 2545 2546 2547 2548 2549 2550 2551 2552 2553 2554 2555 2556 2557 2558 2559 2560 2561 2562 2563 2564 2565 2566 2567 2568 2569 2570 2571 2572 2573 2574 2575 2576 2577 2578 2579 2580 2581 2582 2583 2584 2585 2586 2587 2588 2589 2590 2591 2592 2593 2594 2595 2596 2597 2598 2599 2600 2601 2602 2603 2604 2605 2606 2607 2608 2609 2610 2611 2612 2613 2614 2615 2616 2617 2618 2619 2620 2621 2622 2623 2624 2625 2626 2627 2628 2629 2630 2631 2632 2633 2634 2635 2636 2637 2638 2639 2640 2641 2642 2643 2644 2645 2646 2647 2648 2649 2650 2651 2652 2653 2654 2655 2656 2657 2658 2659 2660 2661 2662 2663 2664 2665 2666 2667 2668 2669 2670 2671 2672 2673 2674 2675 2676 2677 2678 2679 2680 2681 2682 2683 2684 2685 2686 2687 2688 2689 2690 2691 2692 2693 2694 2695 2696 2697 2698 2699 2700 2701 2702 2703 2704 2705 2706 2707 2708 2709 2710 2711 2712 2713 2714 2715 2716 2717 2718 2719 2720 2721 2722 2723 2724 2725 2726 2727 2728 2729 2730 2731 2732 2733 2734 2735 2736 2737 2738 2739 2740 2741 2742 2743 2744 2745 2746 2747 2748 2749 2750 2751 2752 2753 2754 2755 2756 2757 2758 2759 2760 2761 2762 2763 2764 2765 2766 2767 2768 2769 2770 2771 2772 2773 2774 2775 2776 2777 2778 2779 2780 2781 2782 2783 2784 2785 2786 2787 2788 2789 2790 2791 2792 2793 2794 2795 2796 2797 2798 2799 2800 2801 28

新PDF 見

〇〇川氾濫危険情報
(警戒レベル4相当情報)

○ ○ 川 漢 水 子 報 第 ○ 號
第 ○ 卷 第 ○ 期
○ ○ 漢 口 報 社 印 行
○ ○ 漢 口 報 社 印 行

圖 11-3

〇〇川では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続く見込み

(本文)

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。CO川のCO水位観測所（O点）では、
 当分の間、「犯禁浸水水位」付近の水位が続く見込みです。CO川では堤防防壊等による犯禁のおそれ
 があり、O点市、△市では過水のおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、
 県民安全情報局を要するなど、適切な避難行動をとってください。

【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の日安です。〇〇川の△△水位観測所（△△市）では、当分の間、「避難判断水位」付近の水位が速く見込みです。引き続き、市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な避難行動をとってください。

〈警戒レベル相当情報呈示表〉

		〇〇川自流水位情報 集積しつる水門水位情報	
新 敷 堤 防	新設・更新	堤防	
	基準水位超過警戒点	〇〇	△△
	河童淵川	〇〇川	〇〇川
	笠置レベル（1）相違	△	△
	観測水位	△△△△△△△△△△	△△△△△△△△△△
	予測水位		
更新 箇所	〇〇川 △△川	△	△

近辺農村ごとの警戒レベル有無の情報は、同一地区を平瀬川両側の高瀬水位監視所の
受け持ち区域ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの河原による洪水が
想定される地区が占まれる市町村に対して一律に表示しているものです。
警戒レベル相当河原調査の見方について「防災関係ウェブページ」 参照。
<http://www.city.etsu.ac.jp/na/kanku/kyouka/kyouka/kyouka.htm>

【例題】

多いところでは1時間にも00ミリの雨が降っています。
この雨は半分このは禁が強くでしょう。

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

(水位または流量)

基準経路名	水位 (m)	00日 03:00現在	01日午前 X.XX	02日午前 X.XX	03日午前 X.XX	04日午前 X.XX	05日午前 X.XX	06日午前 X.XX
〇〇 (〇〇集) 巴都島鉄水包 X.XX m 藤原島新地 X.XX m 岩口島 X.XX m								

【警戒レベル相当情報早見表】
主文で発表している各基準観測所の状況を一覧表にまとめたもの。

市区町村ごとの警戒レベル相当の
数値は、基準観測所の受け
持ち区間ごとの警戒レベル相当
情報に基づいて、一律に表示。

【水位グラフ】
各基準観測所の現況水位及び
予測水位を示したグラフ。
水位変化を視覚的に捉えやす
くなるよう棒グラフから折れ
線グラフに変更。
基準観測所ごとに警戒レベル
相当を色とともに表示。

水害リスクマップ（浸水頻度図）の整備

- 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進
- 今後はこれに加えて浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進

水害リスク情報の充実

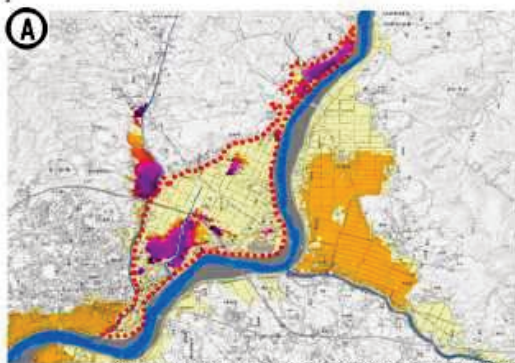
○水害ハザードマップ



○水害リスクマップ※



※2 上記凡例の()内の数値は発生頻度を示していますが、これは例示です。



..... 内水氾濫浸水解析対象範囲

水害リスクマップの活用イメージ

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在(外水氾濫のみ)

整備後(外水氾濫のみ)

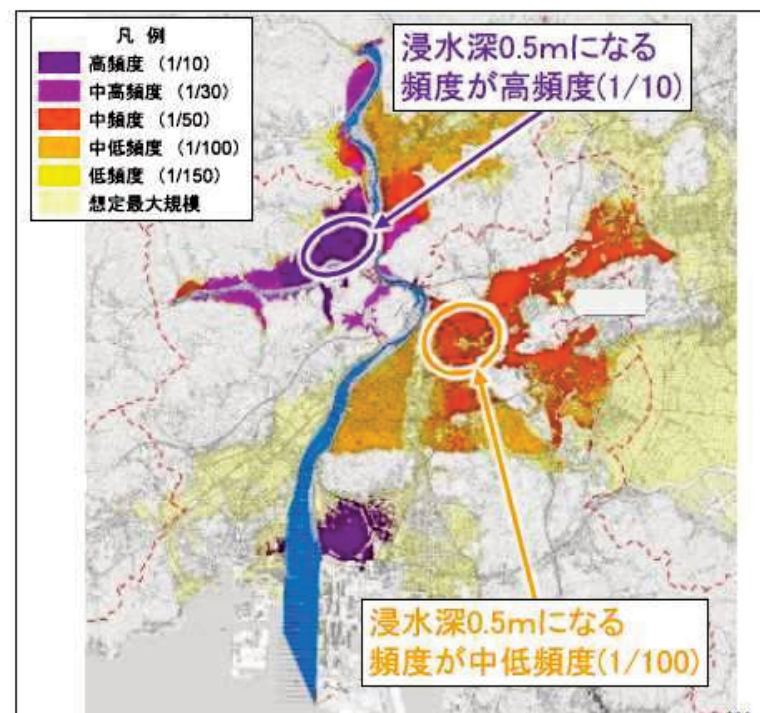
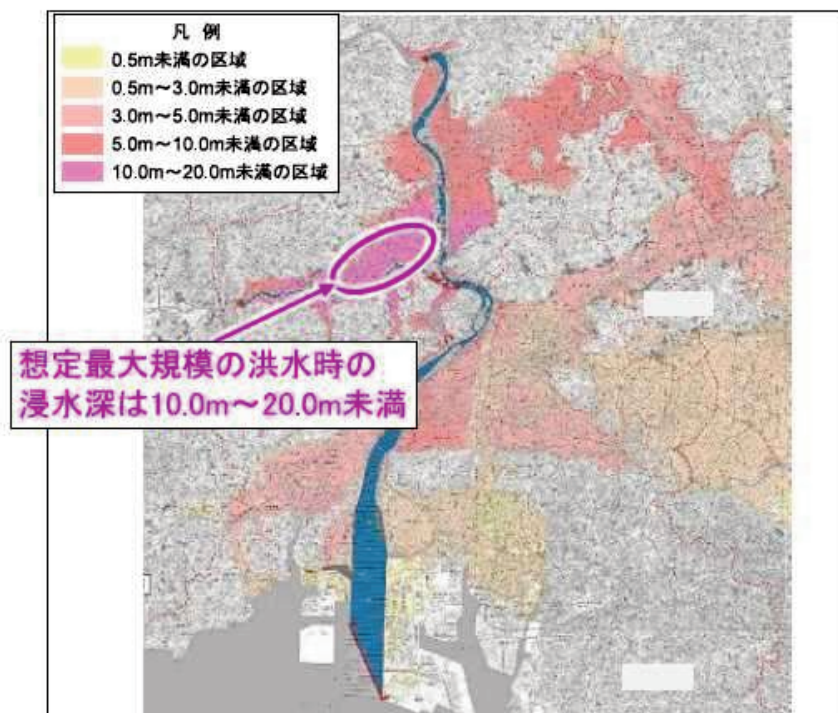


【令和4年度以降の国土交通省としての取組】

- ・全国109の一級水系において、外水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成・公表済み。
- ・現在、内水も含めた内外水統合型水害リスクマップを整備中であり、令和6年度より一部の河川で公表を開始。順次、公表を進める予定。288

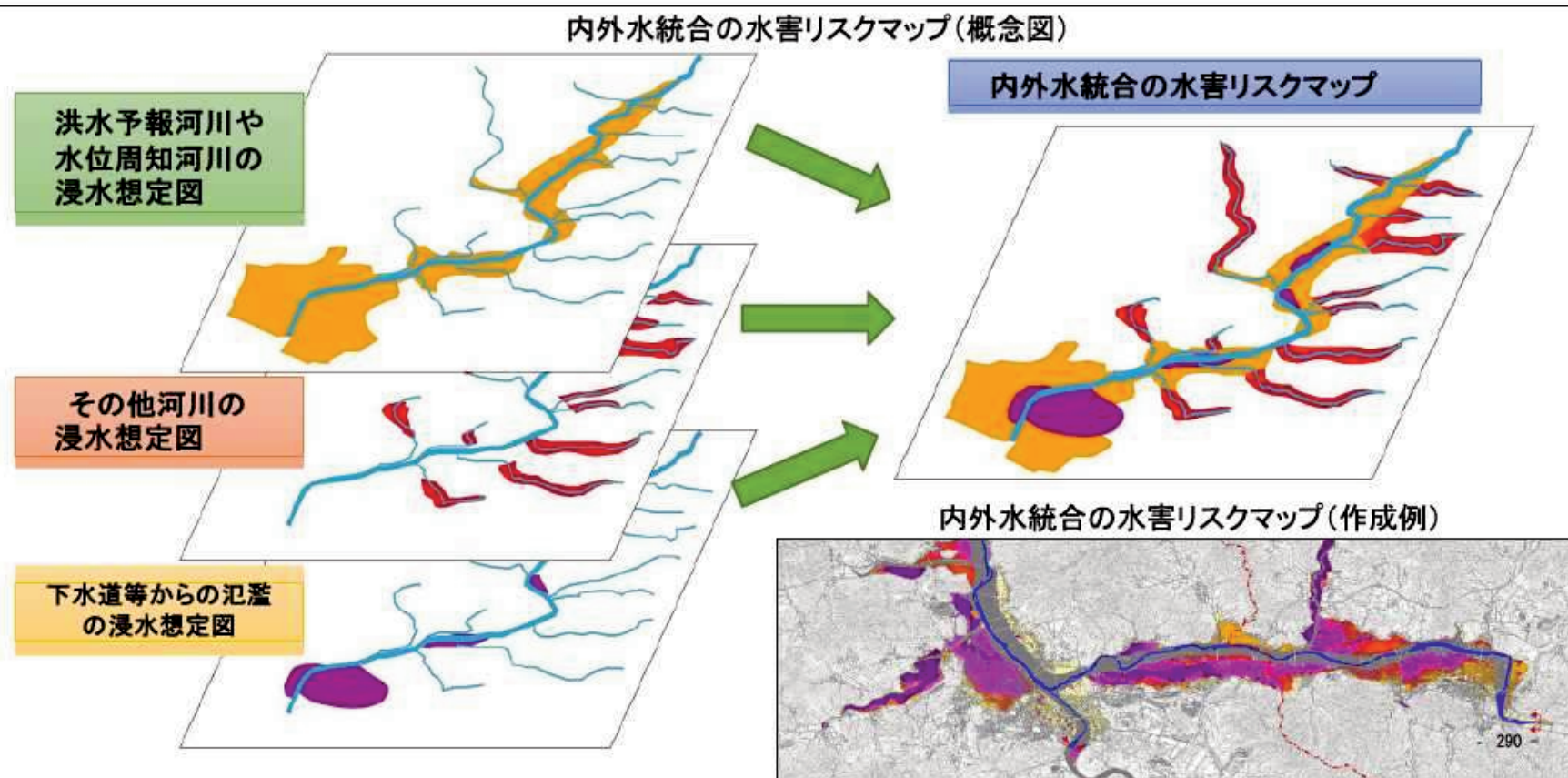
洪水浸水想定区域図と水害リスクマップ（浸水頻度図）の違い

	洪水浸水想定区域図	水害リスクマップ （浸水頻度図）
表す情報	浸水範囲、浸水深（m）	浸水範囲、浸水頻度（〇〇年に1度程度）
主な用途	避難行動	防災まちづくり、企業立地選択等
降雨条件	想定される最大規模の降雨	発生頻度の異なる降雨
河道の時点	現在	現在及び河川整備後



内外水統合型の水害リスクマップ

- これまで国管理河川を対象に、河川からの氾濫による水害リスクマップ（浸水範囲と浸水頻度の関係を図示したもの）の作成を進め、令和4年度までに全ての河川で公表済み。
- 特定都市河川や水災害リスクを踏まえた防災まちづくりに取り組む地区において、先行的に、内水も考慮した内外水統合の水害リスクマップを作成中。
- 【内部向け】R7年度中に、各水系で少なくとも1つの主要エリアにおいて、現況河道条件のものを作成・公表することを目指す。



水災害リスクコミュニケーションポータルサイト

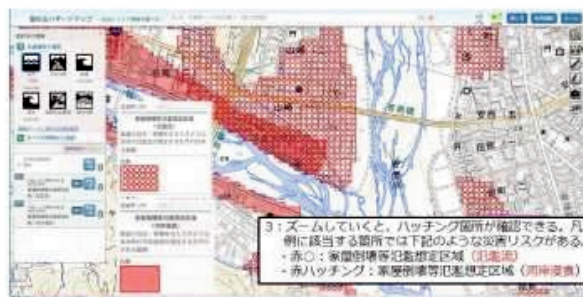
- 水災害リスクコミュニケーションの取組の一環として、どんな水災害リスク情報があるのか、どのように使えばよいかなどの情報を一元的に集約した「水災害リスクコミュニケーションポータルサイト」を開設し、令和6年度より運用開始。
- 情報発信を通じ、民間企業や行政機関などが、自らの水災害リスクをしっかりと確認し、平時から主体的な減災行動を取ることを促進。

■ 水災害リスクコミュニケーションポータルサイト

<https://www.mlit.go.jp/river/risk-communication/index.html>

ポータルサイトでは、知りたい事項ごとに情報の使い方などを紹介

例えば「氾濫時の家屋の倒壊、流出のリスクのある場所を知りたい」では、



リスク情報の解説の例

○ 重ねるハザードマップにおいて、「家屋の倒壊、流出のリスクのある場所」を確認する方法、リスク情報の解説。

○ これらの他に「浸水の範囲や深さ」、「地点別・時間別の詳しい浸水情報」等のリスク情報を確認する方法も紹介。

【水災害リスクコミュニケーションとは】

近年、気候変動の影響による水災害が激甚化・頻発化する中、平時からあらゆる関係者が水災害リスクに関する情報を共有し、意思疎通・相互理解を図ることにより、水災害リスクを減少・分散・回避するための行動を促すこと。



サイト内のページ例（水害リスク情報の種類）

「NIPPON防災資産」の認定制度の創設について

背景

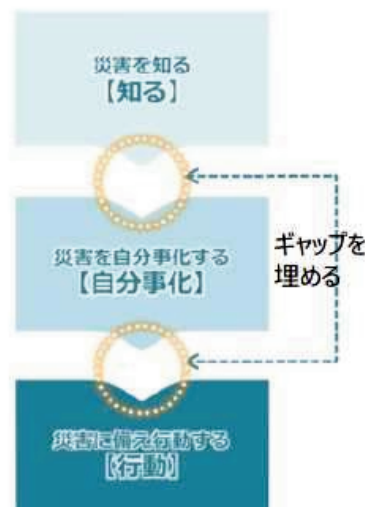
- 近年、全国各地で災害が発生し、災害後には「まさか自分が被災者になるとは…」という声が発せられるなど、多くの人が災害を自分のこととしてとらえていない。
- 一方で、過去の災害の伝承により、命が救われた事例もある。

災害リスクの自分事化に向けて

- 地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動※などを「**NIPPON防災資産**」（以下、「防災資産」という。）として認定する制度を新たに創設。

※活動：語り部、防災に係る催事、防災ツアー等

- 認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、「災害リスクを自分事化」し、「主体的な避難行動」や地域に貢献する防災行動につなげる。



内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣による認定

- 全国の流域治水協議会等を通じて防災資産の認定候補を抽出し、その中から「災害の自分事化協議会」が、防災資産としてふさわしい、「**優良認定**」、「**認定**」案件を、内閣府特命担当大臣（防災担当）及び国土交通大臣に**推薦**。
- 上記推薦を受け、内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣が認定を実施。「**優良認定**」、「**認定**」。

- ・「NIPPON防災資産」認定証の授与
- ・ウェブサイト等でコンテンツを紹介

防災資産の普及・拡大によりこの国に暮らすひとりひとりが、災害リスクを自分事化し、主体的な防災行動へ



（事例）水害経験の教訓を伝える施設

【広島県坂町 小屋浦地区】

- 平成30年の西日本豪雨の教訓を伝え、活かすために、小屋浦公園の一部を「坂町自然災害伝承公園」として整備。
- 園内に「水害碑」の建立と共に「坂町災害伝承ホール」を建設し、災害の教訓を伝承するための教育・研修の場として活用。



坂町災害伝承ホール



災害伝承碑

（事例）災害の教訓を伝承する語り部活動

【和歌山県 那智勝浦町】

- 平成23年の紀伊半島大水害を契機に、和歌山県土砂災害啓発センターを設立。
- 当施設において、同水害の被災者が自身の被災体験で学んだ教訓を伝承するため、手書きの紙芝居を製作し、語り部活動を実施。



和歌山県土砂災害啓発センター



語り部活動

（事例）災害の教訓を伝承する活動（防災に係る催事）

「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」
【新潟県関川村】

- 昭和42年の羽越水害後20年を契機に始まった大蛇伝説と交え水害を伝承する祭。
- 水害発生日の数字に合わせ、82.8mの大蛇を竹と藁で作成し、村内を練り歩き、高台に移動。



優良認定

黒潮町の防災ツーリズム



人と自然のつきあい方を考える
高知県黒潮町の防災ツーリズム

【優良認定のポイント】

- ・避難行動をとれば助かるという意識改革(津波避難放棄者ゼロ)に向けて、官民が一体となって防災のワークショップを何度も繰り返しながら、浸水区域内の全町民の避難カルテを作成し、それに基づいた避難道や津波避難タワーの建設、避難訓練等の取り組みが行われている。
- ・防災ツーリズムを通じて、自ら考え行動する力を身につけ、「人と自然のつきあい方を考える」防災学習の場が提供されている。

黒潮町防災ツーリズムHP: <https://kuroshio-kanko.net/bousai/>

同時発表：内閣府

令和6年9月5日
水管理・国土保全局
河川計画課

第1回「NIPPON防災資産」の認定案件が決定

～災害伝承に関する良質な施設や活動を初めて認定～

内閣府及び国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを「NIPPON 防災資産」として認定する制度を、令和6年5月に創設しました。

このたび、有識者による選定委員会での審議を踏まえ、**本制度の創設後初めて、22件（優良認定：11件、認定：11件）**を認定しました。

今後、認定された防災資産において、**その価値がさらに高まり、各地域における防災力の向上を牽引**していただくことを期待します。

《NIPPON 防災資産》

本認定制度は、認定された防災資産を通じて、住民一人一人が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、災害リスクの自分事化を図るとともに、主体的な避難行動や地域の防災力の更なる向上につなげていただくことを目的としています（参考①：「NIPPON 防災資産」の認定制度について）。

今回の認定にあたっては、全国の流域治水協議会*等を通じて抽出された防災資産の候補案件を対象に、有識者による選定委員会（参考②：第1回選定委員会メンバー）での審議を経て、「優良認定」・「認定」案件を内閣府特命担当大臣（防災）及び国土交通大臣が認定しました。
（※流域治水協議会：関係する河川管理者、都道府県、市区町村、企業等が参画し、流域治水を推進するための組織）



ロゴマーク

1. 優良認定

・11件（別紙①のとおり）

2. 認定

・11件（別紙②のとおり）



優良認定（和歌山県土砂災害啓発センター：語り部活動の様子）

本日、「NIPPON 防災資産」に関するWEBサイトを立ち上げておりますので、詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/index.html>

【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 河川計画課 課長補佐 栗原、技術基準係長 加藤（悠）

代表：03-5253-8111（内線 35382、35393）、直通：03-5253-8443

第1回 NIPPON防災資産「優良認定」 一部抜粋

8	広島市豪雨災害伝承館	広島県 広島市	平成26年8月豪雨	当該施設ができるまでの経緯・過程に、被災者の苦労や、未来への伝承への思いが詰まっているとともに、被災者・住民の一体感と強い思いが伝承館の誕生に繋がっている。施設の運営も被災者が行うなど、住民・地域主導での研修会などの取組がされている点が特に優れている。
9	四国防災八十八話マップ	徳島県 香川県 愛媛県 高知県	四国における 全ての災害	四国防災八十八話マップは4県の教育委員会を通じて小中学校等に配布されているとともに、当該マップの配布に加え、現地探訪やオンラインツアーの実施、効果検証（PDCAサイクル）により学習方法や普及啓発ツールの開発・支援を継続している点が特に優れている。
10	黒潮町の防災ツーリズム	高知県 黒潮町	南海トラフ地震による 津波災害（想定）	避難行動をとれば助かるという意識改革（津波避難放棄者ゼロ）に向けて、官民が一体となって防災のワークショップを何度も繰り返し進めながら、浸水区域内の全町民の避難カルテを作成し、それに基づいた避難道や津波避難タワーの建設、避難訓練に取り組んでいる。防災ツーリズム（宿泊型夜間避難プログラム等）を通して、自ら考え行動する力を身につける防災学習の場を提供している点が特に優れている。
11	熊本地震 記憶の回廊	熊本県	平成28年熊本地震	当該回廊型のフィールドミュージアムでは、被災経験者であるガイドや語り部が展示内容や震災遺構の解説を行うほか、語り部話も実施されている。また、58箇所の震災遺構を周遊しながら、防災行動や備えについて学習するプログラムも実施されている点が特に優れている。

第1回 NIPPON防災資産「認定」 一部抜粋

7	坂町自然災害伝承公園	広島県 坂町	明治40年、 平成30年7月豪雨	展示されている映像資料の中に被災者や教護者の体験や証言があり、語り部だけでなく出来事として、防災意識を向上させる内容となっている。また、他自治体や民間団体の研修ツアーの開催や町内の小中学校とも連携しながら、防災教育に取り組んでいる点が優れている。
8	乙亥会館災害伝承展示室	愛媛県 西予市	平成30年7月豪雨	展示施設は、発災後から生活再建に向かっていた取組の軌跡を時間軸に沿って辿り、復興までの歩みが分かりやすくまとめられている。また、市民の語り部による野村町内の被災現場案内や、体験談の伝承活動など、地域を巻き込んだ防災減災学習に取り組んでいる点が優れている。
9	雲仙・普賢岳噴火記念館	長崎県 島原市	雲仙・普賢岳噴火災害	雲仙・普賢岳噴火災害に関し、施設として出典の明らかな史料が保管されているほか、それらを活用し、火山防災に関してわかりやすく学ぶことができる展示を行っている。また、その施設を拠点として語り部による講話、定点ツアーなど様々な災害伝承活動が行われている点が優れている。
10	念仏講まんじゅう配り	長崎県 長崎市	万延元年（1860年） 土砂災害	江戸時代に発生した災害を契機に開始し、現代まで160年以上継続していることのほか、昭和57年7月豪雨（長崎大水害）において該地区で犠牲者が発生しなかった実績があるという点において優れている。
11	大分県災害 データアーカイブ及び フィールドツアー	大分県 大分市	大分県における 全ての災害	当該デジタルアーカイブでは、災害の情報として当時の写真（原公文書館、新聞記事）や報道機関が所有する映像も含まれており、災害リスクをリアリティーをもって理解することが可能となっていることに加え、大学生への防災教育も兼ねながら、大学と連携したコンテンツの拡充が継続されている点が優れている。